

ICF を用いた研究について

WHO の中心分類である国際生活機能分類を用いた研究について、国立保健医療科学院が公開している「厚生労働科学研究成果データベース」から検索を行った。検索語は、「国際生活機能分類」と「ICF」をそれぞれ別に入力し、検索項目は「全項目」にチェックを入れて検索を行った。

※なお、厚生労働科学研究成果データベースは平成9年度以降の厚生労働科学研究成果をデータベース化したものである。

【結果の概要】

1. 研究件数

上記検索ワードで検索した結果、38件の研究課題が該当した。

※複数年度の研究課題については1件として数え上げた。

2. 研究内容別の件数

ICF の評価(妥当性・有用性等)に関する研究	ICF の指標や分類を用いた研究	ICF の情報収集や利活用に関する研究	その他
7	23	3	6

※一つの研究課題に複数の内容を有する場合もあり合計が 38 件を超える結果となった。

※研究内容の区分は事務局が便宜上設けたものであり、研究者の意図とは異なる可能性があることに留意頂きたい。

3. 年度別の件数

12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
3	1	2	1	7	3	2	7	0	3	4	1	1	2	1

No.	開始年度	研究内容	研究区分	研究課題名	研究代表者名(所属機関)
1	平成12(2000)年度	ICFの情報収集や利活用に関する研究	総合的プロジェクト研究分野 障害保健福祉総合研究事業	国際障害分類の改訂作業に伴う諸制度との関係及び諸外国の動向調査研究	仲村 英一 ((財)日本医療保険事務協会理事 長)
2	平成25(2013)年度		行政政策研究分野 政策科学総合研究(統計情報総合研究)	ICF(国際生活機能分類)の普及を促進するためのツールとしてのWHO-DASの活用可能性に関する研究	筒井 孝子 (国立保健医療科学院)
3	平成12(2000)年	ICFの指標や分類を用いた研究	総合的プロジェクト研究分野 長寿科学総合研究	高齢者のターミナルケアにおけるケア及びリハビリテーション技術の標準化に関する研究-「ハイリスク・体力消耗状態」の観点から	木村 伸也 (愛知医科大学リハビリテーション部)
4	平成13(2001)年度		総合的プロジェクト研究分野 障害保健福祉総合研究事業	介助犬の適応障害と導入及び効率的育成に関する調査研究-身体障害者に対する有用性と課題-(総括研究報告)	藤田 紘一郎 (東京医科歯科大学大学院国際環境寄生虫病学分野教授)
5	平成14(2002)年度		疾病・障害対策研究分野 長寿科学総合研究	在宅高齢者に対する訪問リハビリテーションのプログラムとシステムに関する研究	大川 弥生 (国立長寿医療センター研究所生活機能賦活研究部)
6	平成16(2004)年度		疾病・障害対策研究分野 長寿科学総合研究【痴呆・骨折臨床研究(若手医師・協力者活用に要する研究を含む)】	病棟・居室棟でのリハビリテーションと在宅自立支援に関する研究-WHO・ICFモデルに立った個別性重視の医療と介護の連携	大川 弥生 (国立長寿医療センター研究所生活機能賦活研究部)
7	平成16(2004)年度		疾病・障害対策研究分野 障害保健福祉総合研究	知的障害者の二次的障害としての咀嚼障害の原因と対策について-地域移行への体制づくりのために-	前田 茂 (岡山大学医学部・学部附属病院)
8	平成16(2004)年度		疾病・障害対策研究分野 障害保健福祉総合研究	知的障害者の地域移行を困難にする二次的障害とその対策に関する研究	遠藤 浩 (独立行政法人国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園)
9	平成16(2004)年度		疾病・障害対策研究分野 障害保健福祉総合研究	精神障害者保健福祉手帳の判定のあり方に関する研究	白澤 英勝 (宮城県精神保健福祉センター)
10	平成16(2004)年度		疾病・障害対策研究分野 障害保健福祉総合研究	重度精神障害者の治療及び治療効果等のモニタリングに関する研究	吉川 和男 (国立精神・神経センター精神保健研究所司法精神医学研究部)
11	平成17(2005)年度		疾病・障害対策研究分野 長寿科学総合研究	生活機能向上にむけた介護予防サービスのあり方及び技術に関する研究-「廃用症候群(生活不活発病)モデル」	大川 弥生 (国立長寿医療センター 研究所生活機能賦活研究部)

No.	開始年度	研究内容	研究区分	研究課題名	研究代表者名(所属機関)
12	平成18(2006)年度	ICFの指標や分類を用いた研究	行政政策研究分野 政策科学総合研究(政策科学推進研究)	介護保険制度改正にともなう予防重視効果の検証 一介護予防ケアマネジメントシステムの構築を目指して	大川 弥生 (国立長寿医療センター 研究所生活機能賦活研究部)
13	平成18(2006)年度		行政政策研究分野 厚生労働科学特別研究	統計上の分類項目として活用可能な「共通言語」としてのICFの研究	上田 敏 (日本障害者リハビリテーション協会)
14	平成19(2007)年度		行政政策研究分野 政策科学総合研究(政策科学推進研究)	法医学検事例の公衆衛生的時系列分析に基づく高齢者孤独死撲滅のための実証的予防政策立案	田宮 菜奈子 (筑波大学 大学院 人間総合科学研究科)
15	平成19(2007)年度		疾病・障害対策研究分野 障害保健福祉総合研究	青年期発達障害者の円滑な地域生活移行への支援についての研究	深津 玲子 (国立身体障害者リハビリテーションセンター 病院)
16	平成19(2007)年度		疾病・障害対策研究分野 長寿科学総合研究	高齢者の生活機能低下に対する作業療法の効果に関する研究	能登 真一 (新潟医療福祉大学 医療技術学部)
17	平成19(2007)年度		行政政策研究分野 厚生労働科学特別研究	高齢被災者に対する生活機能低下(廃用症候群)予防等プログラムの実施及び評価等に関する標準手法に関する研	大川 弥生 (国立長寿医療センター研究所生活機能賦活研究部)
18	平成21(2009)年度		疾病・障害対策研究分野 障害者対策総合研究	在宅遷延性意識障害者のQOL向上を目的とした支援の在り方に関する研究	日高 紀久江 (筑波大学 人間総合科学研究科 看護科学系)
19	平成21(2009)年度		行政政策研究分野 厚生労働科学特別研究	終末期の生活者の生き方を支える相談・支援マニュアル策定に関する研究	川島 孝一郎 (仙台往診クリニック 診療部門)
20	平成22(2010)年度		行政政策研究分野 政策科学総合研究(統計情報総合研究)	ICFを用いた慢性疾患病状推移統計システムの構築	藤田 伸輔 (千葉大学 医学部附属病院地域医療連携部)
21	平成22(2010)年度		疾病・障害対策研究分野 難治性疾患克服研究	急激退行症(21トリソミーに伴う)の実態調査と診断基準の作成	奥山 虎之 (独立行政法人国立成育医療研究センター 臨床検査部)
22	平成22(2010)年度		疾病・障害対策研究分野 障害者対策総合研究	知的障害者の地域生活移行に関する支援についての研究	深津 玲子 (国立障害者リハビリテーションセンター 研究所発達障害情報・支援センター)
23	平成22(2010)年度		疾病・障害対策研究分野 障害者対策総合研究	高齢の障害者への支援の在り方に関する研究	大川 弥生 (独立行政法人 国立長寿医療研究センター 生活機能賦活研

No.	開始年度	研究内容	研究区分	研究課題名	研究代表者名(所属機関)
24	平成23(2011)年度	ICFの指標や分類を用いた研究	疾病・障害対策研究分野 認知症対策総合研究	都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応	朝田 隆 (筑波大学 医学医療系臨床医学域)
25	平成12(2000)年度	ICFの評価(妥当性・有用性等)に関する研究	総合的プロジェクト研究分野 障害保健福祉総合研究事業	WHO国際障害分類第2版の信頼性・妥当性・実用性に関する研究(総括研究報告書)	上田敏 (日本障害者リハビリテーション協会)
26	平成15(2003)年度		行政政策研究分野 政策科学推進研究	慢性期入院医療における包括的評価指標の開発(総括研究報告書)	高橋泰 (国際医療福祉大学)
27	平成17(2005)年度		疾病・障害対策研究分野 障害保健福祉総合研究	「生活機能」低下者の保健福祉施策における国際生活機能分類(ICF)の活用に関する研究	仲村 英一 (財団法人結核予防会)
28	平成19(2007)年度		行政政策研究分野 政策科学総合研究(政策科学推進研究)	「生活機能」のコード化に関する研究	上田 敏 (財)日本障害者リハビリテーション協会)
29	平成25(2013)年度		行政政策研究分野 政策科学総合研究(政策科学推進研究)	疾病及び生活機能に基づく保健・医療・介護・福祉等制度の包括的評価手法の開発を目的とした研究	筒井 孝子 (国立保健医療科学院)
30	平成16(2004)年度	ICFの評価(妥当性・有用性等)に関する研究 ICFの指標や分類を用いた研究	疾病・障害対策研究分野 障害保健福祉総合研究	知的障害児・者の機能退行の要因分析と予防体系開発に関する研究	加我 牧子 (国立精神・神経センター精神保健研究所)
31	平成14(2002)年度	ICFの評価(妥当性・有用性等)に関する研究 ICFの情報収集や利活用に関する研究	疾病・障害対策研究分野 障害保健福祉総合研究	国際生活機能分類(ICF)の活用のあり方に関する研究	仲村 英一 (財)結核予防会)
32	平成16(2004)年度	その他	疾病・障害対策研究分野 障害保健福祉総合研究	身体障害者の障害認定基準の最適化に関する実証的研究	岩谷 力 (国立身体障害者リハビリテーションセンター(更生訓練所))
33	平成17(2005)年度		疾病・障害対策研究分野 障害保健福祉総合研究	障害保健福祉施策の企画・立案に資する技術情報に関する調査研究	諏訪 基 (国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所)
34	平成19(2007)年度		疾病・障害対策研究分野 障害保健福祉総合研究	ライフステージに応じた広汎性発達障害者に対する支援のあり方に関する研究:支援の有用性と適応の評価および臨床家のためのガイドライン作成	神尾 陽子 (国立精神・神経センター精神保健研究所 児童・思春期精神保健部)

No.	開始年度	研究内容	研究区分	研究課題名	研究代表者名(所属機関)
35	平成19(2007)年度	その他	健康安全確保総合研究分野 健康安全・危機管理対策総合研究	地域横断的な健康危機管理体制の機能分化のあり方、評価指標、効果の評価に関する研究	河原 和夫 (東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 政策科学分)
36	平成21(2009)年度		健康安全確保総合研究分野 地域医療基盤開発推進研究	遠隔医療の概念整理と遠隔連携に関する研究	川島 孝一郎 (仙台往診クリニック 診療部)
37	平成24(2012)年度		疾病・障害対策研究分野 障害者対策総合研究	障害関係分野における今後の研究の方向性に関する研究	岩谷 力 (国立障害者リハビリテーションセンター)
38	平成26(2014)年度		行政政策研究分野【補助金】政策科学総合研究(政策科学推進研究)	国際生活機能分類児童版(ICF-CY)の妥当性に関する研究	橋本 圭司 (独立行政法人国立成育医療研究センター 発達評価センター、臓器運動器病態外科部リハビリテーション科)